

【南阿蘇村学校保健会研修会感想】

- 脳が活性化した気がします。いかに頭が固かったか。ユーモア、好奇心、協調性を持って過ごしたいと思います。我が家での会話や過ごし方を考えたいと思いました。
- 私はバスケット部の指導をしています。コート上では自分で判断、決断、行動しなければならないので、いつも生徒には「考えなさい」と言っていますが、今日の講話を聴いて、練習が楽しいと思える環境を作っていかなければと思いました。私生活でもきつい時などネガティブになり気持ちが落ち込んでいくので、「心で笑う」ことを大切にしていきたいです。私はなかなか自分の事を好きだと思えないので、まずは自分を褒めることからやっていきたいです。そして思っていることを言葉に出していきたいです。
- 一番気になっていたことは変化の大きな社会とコミュニケーションに乏しい子どものことでした。今日のお話を聴いて、そのどちらにもヒントになりました。心豊かに楽しく過ごすことの大切さについて改めて思い出すことができました。まずは自分が実践することから始めたいです。
- 今日は「ただいま～」と笑顔で玄関のドアを開けようと思います。きっと子どもたちは「どうした？」と思うだろうな…。「笑う」ということが一番大切だとわかっていても、日々の生活で忘れていたなと考えさせられました。先生のお話は面白くあつという間の2時間でしたが、すごく勉強させていただきました。「先生達がしないことを生徒にするよう求めている」にハッとしました。家庭でもそうなのかもしれません。うーんと迷って、そして面白いことをたくさん見つけてもらいたいと思います。笑顔からこんなに沢山のよいことを得られるなんて！明日から鏡を見て笑って「私は幸せです！」と言ってみようと思います。とても有意義な時間でした。
- 久しぶりに笑えました。日頃、自分を褒めるということをしていませぬので、これから鏡を見て自分を褒めてあげたいと思いました。ユーモア力がつくように見聞を広めたいと思いました。川柳等にも挑戦してみたい！
- 先生のお話が面白くあつという間の2時間でした。先生が再三言われていた「まずは職員室でしないとダメ」という話にとっても納得しました。子どもたちに仲良く、楽しくを求めるからには、まず教師自身が仲のよい姿を、楽しそうな姿を見せることが大切だとわかり、これから自分の行動や姿を少しずつ変えていきたいと思いました。これから頑張る元気を沢山もらうことができました。
- いつもは時間が過ぎるのが遅く感じますが、今日はあつという間の90分でした。これも笑いの効用であり、好奇心を持って拝聴したからかなと思います。自分自身も日頃からユーモア、好奇心、協調性はとても大切であると意識しています。今日の講演を聴き、具体的にそれらの重要性を理解することができました。今日は帰宅し、まずは家族でハイタッチしてみます。そしてユーモアたっぷりの笑いを大切に、人生を豊かにしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 「おもしろいな、いっぺんやってみいや」と、とてもわかりやすい言葉で始まり、笑いの中で印象に残るお話でした。まずは職員室でやってみて、子どもたちの前でやってみたいと思います。
- 笑うこと、笑わせること、笑い合うことの大切さや必要生をとっても実感できた時間となりました。まずは自分の心を豊かにし、ユーモア力を鍛えて行くことから始めたいと思いました。また、職場だけでなく、家庭や様々な場で実践していきたいと思います。プラスオーラがプラスを生み出すことは間違いないと思うので、マイナスなこともプラスに変える一人になりたいです。
- 沢山笑うことができました。その笑いの中にも時々自分を振り返り、考えることができ、とてもよい時間を過ごすことができました。うちの学校は元から楽しい職員室ですが、ハイタッチをやってみようかと思っています。

- ハイタッチは毎日の帰りの会のあとにしています。忙しくて出来なかった日、子どもが「先生！」とニコニコしながら手のひらを私に向けて寄って来てくれ、こころがジーンと嬉しい気持ちになりました。心と心をつなぐ、笑って本来そうですよね。職場でもハイタッチにチャレンジしようかなと思った私です。
- 笑いと教育はとても繋がっていると思いました。面白いってどういうことか考える機会になりました。「ユーモアを知っている人は自殺なんかしない」「お笑いと笑いは違う」「人間に与えられた笑う力」一つ一つの言葉が深くて人生についていると思いました。私も笑って心豊かに生きていきたいです。
- 「笑いと教育」という演題、どんな講演があるのだろう？と楽しみに参加しましたが、本当に楽しく笑いっぱいであったという間に時間が過ぎました。と同時に言葉の持つ意味や力のすごさを改めて感じました。また子どもたちとの授業の中でもやはり「笑い」「笑顔」の多かった日は子どもの伸びや意欲が実感できます。これから先も意識してメリハリのある話、授業をしていかなければと感じました。
- 去年は地震だけでなく家族にも悲しい出来事や心配事が続き辛かったのですが、教室で子どもたちの笑顔からたくさん元気をもらったことを思い出します。2学期からは教室でハイタッチをして、笑顔が広がるといいなと思いました。今日はありがとうございました。
- 早口と早い展開のお話に初めは慣れず一生懸命考えながら聴いていましたが、色々なネタと共に先生の優しさや笑いを通して伝えられる脳の育ち、脳と心、人として大切なことを教えていただきました。早速、実践に活かしていきたいです。
- 幸せ観を持続していくことが健康でいられるということを改めて感じました。人を笑わせることは得意ではないですが、ユーモアのある人は好きだし、そういう人になれたらいいなと思います。笑いの大切さを教えていただいたので、子どもたちをもっと広い心で包めるような人になりたいと思いました。まずは、身近な職員室からです。
- 「脳はあほやから」という言葉が心に残りました。「幸せだから笑う」ではなく「笑うから幸せ」なのだ初めて知りました。学校現場、はととても忙しかったり震災の影響が残っていたりするのですが、だからこそ「笑顔」で過ごしユーモアを交えて話すことが大切なのだと思います。頑張り過ぎずに実践したいと思います。
- 今日はユーモアに富んだ講演でとても有意義な時間を過ごすことができました。「まずは自分から色々実践していきたいです。
- 笑うことの大切さを改めて感じることができました。健康によいことは知っていましたが、人生を豊かにすることまで深く考えたことがなかったのでとても興味深かったです。私はユーモアがある方ではないので、ちょっとしたアイデアや違う見方をしていけたらいいなと思いました。家族や子育ての話を聴いて学校だけでなく家庭でも笑いを心がけたいと思いました。
- 2時間、ずっと笑顔で過ごすことができました。私自身、生徒に「させなきゃ、させなきゃ」ということばかり考えて、意識が固い方向にいていたと思います。ユーモアを持って仕事を楽しみ人生を楽しみたいと思います。
- ずっと笑いっぱなしで、楽しい研修でした。ユーモアは本当に必要だと常々思っていたので、改めてやってみようと思いました。「楽しくない」「したくない」と思いながら仕事をしてても何も生まれません。教室がドヨーンとしていたり、今日は今ひとつ元気がないなと思ったら一番に笑顔で接し子どもたちを導いていきたいです。
- 大変楽しく笑顔でこの時間を過ごすことができました。笑うことがどれだけ大切なことが改めて感じました。ゆとりがなくなると笑うことを忘れます。心にゆとりをもって過ごしたいと思います。

- 身体ふれあい(ハイタッチ)と笑いは、相手との距離をすぐに縮めるものだと思われがちです。
- 和やかに笑って聴けてよかったです。まずは学校の職員がユーモアを持ち、子どもたちに接することが大切だということが心に残りました。職員室で先生たちがハイタッチすることを期待しています。両親の仲が良くないと子どもが幸せにならない、幸せな子はいじめをしない等、ユーモアで学校が社会が変わるのだとわかりました。
- 学校に笑いが必要なこと、楽しく授業という話に感銘を受けました。笑顔で子どもたちと接していきたいです。笑いはいいものですね。
- これからの人材育成に必要な3つのこと。これは教室でも大切なことだと思います。ハイタッチ、お互いに褒め合う等、やってみたいことが沢山ありました。保護者にも広めたいです。
- 話し方、間の取り方、引きつけ方とても勉強になりました。笑うためには、自分自身が人と沢山付き合うこと、そしてふれあうことを子どもたちに伝えていこうと思いました。自分が育った環境を思い返すと家庭にも学校にも笑いがあり、だからこそ教職につき毎日楽しく過ごしています。これからは沢山のネタを仕込んで、子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思っています。
- とても参考になりました。私も笑い療法士としての活動に、本日の貴重なお話を取り入れさせていただきたいと思っています。
- 特に印象的だったのは、楽しいから考える、考えさせたいなら楽しくさせるということ。当たり前だけどマンネリ化していました。感じることを大切に今後活かしていきたいです。
- 子どもへの関わり方、学校での自分自身の姿勢、心の持ちようについて普段考えないことを気づかせていただきました。自分の心の豊かさ、感性の大切さを改めて感じました。
- 楽しいと考えると、そこに言語が生まれる。その通りだと思いました。子どもたちに楽しいと思わせるためには、授業の中に面白さがあり、本人の伸びを感じさせることが大切だと思いました。忙しいけれどいい顔で、思っていることを言葉に出し、幸せ感で仕事に頑張っていきたいと思いました。
- 楽しくなければ学校じゃないを目標に取り組んでいきます。お話をお聴きして自分の日常にある大切な心構えを後押ししてもらえたように感じました。職場と家庭でのスタートをハイタッチにしたいと思っています。
- 短い時間で沢山笑いました。生活で一番出来ていないのが笑いだと思いました。表面だけでなく経験したり感じたりして心から笑えるようになり、そこから子どもたちや職場に伝えられることが見つかるのだと思いました。
- 笑うこと、環境を大切にすること、改めて家庭や職場で大切だと思いました。さらに自分が楽しい、面白いと感じる心を育成していきたいと思いました。
- 悩みと迷いの違い、ユーモアとお笑いの違いなど、なるほどと思いました。授業では楽しい雰囲気大切にしているつもりですが、自分にゆとりがないと上手いかないことがよくあります。まず自分がユーモアを持って、面白い、やってみようという気持ちを大切にしようと思いました。
- 日頃から自分が笑う習慣や、人を笑わせる工夫やネタを考えてみようと思いました。
- 緊張がほぐれて聴くことができました。
- 子どもたちは、楽しいことや面白いことが大好きなので、学習に取り入れると喜ぶと思いました。面白そうと思わせる仕掛けも工夫していこうと思います。
- 生徒に「おもしろそう」「やってみよう」と思わせるためには工夫が必要だと思いました。
- ずっと笑っていました。これだけ笑える講演は、あまり経験がありません。生活に活かしていきたいです。